

あなたの安心

222万ト。日本石鹼

洗剤工業会がまとめた、2009年の国内メーカーによる洗剤の販売量だ。単純に人口で割ると、1人当たり年間17kgを超える。

戦後、家庭に合成洗剤が急速に広まった。1960〜70年代、合成洗剤に含まれる界面活性剤で川が泡立ったり、リンで琵琶湖に赤潮が発生したりする問題が起き、合成洗剤追放運動が高まった。

肌への影響、環境への負荷……。洗剤の改良や下水道

の整備が進み、「問題は解決された」とされる今、一人ひとりの洗剤への関心が薄れてはいないだろうか。

東京都大田区に住む会社員のクミコさん(25)は、母親(52)とともに敏感肌だ。かつて、クミコさんは小児アトピーに悩み、母親は食器洗いで手の湿疹が悪化した。

家で使う洗剤選びは母任せ。シャンプーやボディソープも母親がインターネットで買っているという。その素材がせっけんかどうかを尋ねると、「確かめたことはありません」。

プレゼント用にと、色や香り付きの固形せっけんを買ったこともある。だが、成分は気にもとめなかった。「何が良くて何が悪いのか、よく分からないので」

上手に洗う①

「濃縮液体洗剤の環境への負荷は?」「せっけんで洗濯する時、適当な量は?」

せっけんや洗剤に関する情報

洗剤の特性 関心持って

報サイト「uki☆uki☆せっけんライフ」(<http://sekken-life.com/life>)

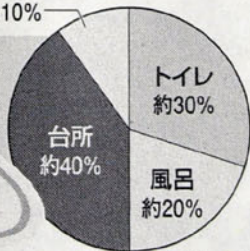
こには、熱心な消費者から質問が寄せられる。同サイトを運営するのは、

洗剤の注意点は?

- ① 肌への影響
- ② 川や海への影響
- ③ 汚れに応じた使い方

生活排水に含まれる汚れの量の内訳

洗濯など 約10%



(環境省の資料から)

The Asahi Shimbun

化学物質の安全性に関する研究所に勤める薬学博士、田嶋晴彦さん。せっけんの愛用者だが、他の洗剤も否定せず、第三者の目で正しい知識を広めたいと思っている。

「肌にトラブルを抱え、せっけんを求める人は多い。ただ、せっけんにも短所はある。使い方の工夫や他の洗剤との使い分けが必要です」

❗ 手洗い、入浴、洗濯、食器洗い、掃除……。

毎日の暮らしに「洗う」ことは欠かせません。肌をやさしく、川や海を汚さない洗い方を5回連載で。(吉川一樹)